

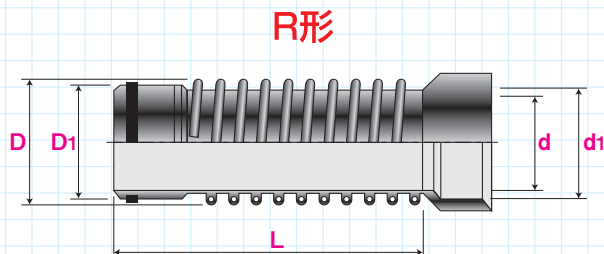
ハウエル管 $\phi 300 \sim \phi 3000$

NETIS
CB-980025-V

用途

- ・道路横断管 ・海水取水管 ・ため池(底樋)
- ・各種タンク ・産廃場排水管 ・管更正
- ・排砂管 ・ダクト ・各種パイプライン
- ・樋管 ・マンホール ・下水道管

規格	日本工業規格	耐圧ポリエチレンリブ管 (JIS K 6780)
	下水道協会規格	下水道用リブ付ポリエチレン管 (JSWAS K-15)
基準	国土交通省	新技術登録 (NETIS CB-980025-V) カルバート工 (NETIS CB-980024-A) 柔構造樋管
	農林水産省	土地改良事業計画設計基準 (農道)
	日本道路公団	設計要領第二集カルバート編



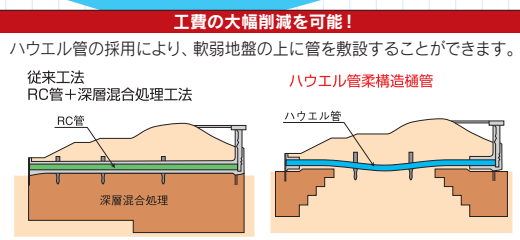
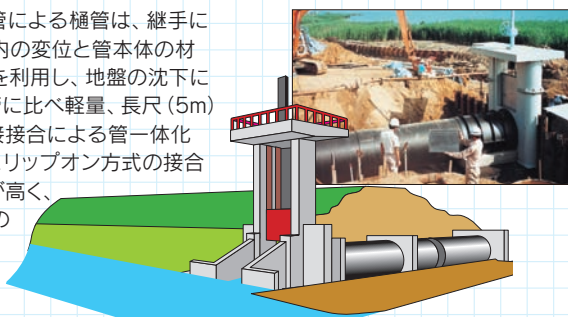
●規格寸法表

呼び名	内径	差口部	受口部	有効長 L (mm)	R30		R60		R90		R120	
	d (mm)	外径 D ₁ (mm)	内径 d ₁ (mm)		外径 D (mm)	質量 (kg/本)	外径 D (mm)	質量 (kg/本)	外径 D (mm)	質量 (kg/本)	外径 D (mm)	質量 (kg/本)
300	300±3.0	332±3.0	358±3.0	5000 ⁺⁵⁰ ₋₂₅	372	50	372	50	372	50	372	55
350	350±3.5	382±3.5	408±3.5		422	55	422	55	422	65	430	85
400	400±4.0	432±4.0	458±4.0		474	65	474	70	474	80	482	95
450	450±4.5	482±4.5	508±4.5		524	70	526	90	532	105	534	130
500	500±5.0	540±5.0	566±5.0		574	85	582	120	584	140	592	165
600	600±5.0	640±5.0	666±5.0		674	125	684	170	692	200	704	255
700	700±5.0	750±5.0	776±5.0		788	170	792	235	804	300	860	360
800	800±6.0	850±6.0	876±6.0		892	215	904	240	960	405	960	440
900	900±6.5	950±6.5	976±6.5		1030	270	1044	265	1052	440	1064	525
1000	1000±7.0	1060±7.0	1086±7.0		1134	235	1152	470	1164	585	1180	715
1100	1100±8.0	1160±8.0	1186±8.0		1244	440	1260	605	1352	715	—	—
1200	1200±9.0	1260±9.0	1286±9.0		1344	485	1452	780	1454	805	—	—
1350	1350±9.5	1420±9.5	1446±9.5		1502	655	1602	880	1616	1075	—	—
1500	1500±10.0	1570±10.0	1596±10.0		1666	895	1754	1085	1764	1320	—	—
1650	1650±11.0	1720±11.0	1746±11.0		1902	1070	1906	1335	1922	1670	—	—
1800	1800±11.5	1870±11.5	1896±11.5		2052	1235	2062	1690	2176	2055	—	—
2000	2000±12.0	2070±12.0	2096±12.0		2252	1545	2284	2185	2378	2450	—	—
2400	2400±14.0	2490±14.0	2526±14.0		2678	2600	—	—	—	—	—	—
3000	3000±18.0	3110±18.0	3156±18.0		3410	4150	—	—	—	—	—	—

※製品仕様は改良、改善のため、予告なく変更する場合があります。※外径 (D) 及び質量は参考値です。
※有孔管 (全周 2/3) もあります。上記寸法と同じです。

■樋管

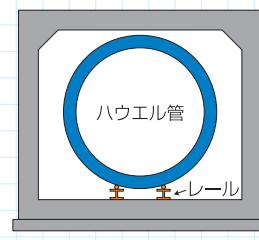
ダイプラハウエル管による樋管は、継手による許容曲げ角度内の変位と管本体の材料特性による変位を利用し、地盤の沈下追随します。他種管に比べ軽量、長尺 (5m) で、継手接合は溶接接合による管一体化や、ゴム輪によるスリップオン方式の接合が可能で、水密性が高く、施工が容易で工期の短縮が可能です。



■管更正

特長

- 耐薬品性に優れるため中込材 (モルタル) による管体腐食の問題がありません。
- 発進スペースに合わせた管のサイズ (有効長) を提供できます。
- 他種管材料と比較して軽量のため、工期短縮が図れます。
- イニシャルコストだけでなくランニングコストを含めたライフサイクルコストを軽減できます。
- 施工条件によっては、既設管内に作業員が入ることなく更正が可能です。



既設ボックスカルバート更生例

カルバート類

側溝類

管渠・暗渠類

道路類

残存型
砕砕
シート
ライニング
類

擁壁類

水路類

農業用

河川・港湾類

防災・減災類

貯留浸透類

機能性
コンクリート

その他